



NO 15

令和6年3月25日

文責：喜多三郎

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』

# 島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

## ○ 祝卒業！ 卒業生65名の旅立ち

やわらかな春の日ざしの中、3月19日（火）第77回本校卒業証書授与式を開催いたしました。感動あふれる式となり、65名の一人一人が凛とした立派な姿で、第五小学校を卒業しました。6年間過ごした学び舎を後にして、少々寂しげな表情の卒業生の面々でしたが、新たなチャレンジの始まりとして、大いに羽ばたいてほしいものです。第五小学校の卒業生として、自信と誇りを胸に中学校でのさらなる活躍を期待します。



## ○ 修了式、離任式

3月22日（金）修了式を終え、令和5年度が無事に終了しました。本校教育活動に際しまして、これまでの保護者・地域の皆様方のご理解・ご支援、温かい見守りのおかげで、毎日、子どもたちが安全・安心に過ごすことができました。誠にありがとうございました。新年度も引き続き、家庭や地域の皆様方のご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年度の人事異動で5名の職員が、第五小学校から転出ことになりました。離任式において、子どもたちとも悲しいお別れをしました。在職中は、大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 【令和6年度4月の行事予定】

- 8日（月）始業式、着任式（給食なし）
  - 9日（火）入学式会場設営
  - 10日（水）入学式、委員会活動
  - 11日（木）学力テスト（5・6年）
  - 12日（金）1年生を迎える会・歓迎遠足
  - 15日（月）1年生給食開始、交通安全教室
  - 16日（火）避難訓練、常代議員会 19:00～
  - 18日（火）6年生全国学習状況調査、  
5年生県学力調査
  - 22日（月）～25日（木）家庭確認訪問
  - 26日（金）授業参観・部会、育友会総会
  - 30日（火）特別支援学級春の交流会
- ※変更になる場合があります。



## 『笑顔いっぱい、ひとみ輝く第五小』

新しい正門とともに、「おはようございます」と、毎朝の繰り広げられる温かい光景が、未来永劫続くこと祈りつつ、今年度も、大変お世話になりました。新年度も、皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ○卒業式校長のはなむけの言葉』（抜粋）

さて、別れのさみしさはありますが、卒業は新たなスタートでもあります。ここで、新たなスタートをきるみなさんへ二つのこととお話しして、はなむけの言葉といたします。

一つ目は、「自分を知る」です。なりたい自分とはどんな姿なのか。自分が一番好きなもの、集中できるものは何なのか。これから皆さんは、中学校という新たなステージへと向かいます。人間は、チャレンジなしには、前には進めません。すなわち、前へ進むには、また自分を知るためには、挑戦しようとする勇氣と行動が必要です。この第五小学校の六年間で学んだことを生かして、新しいことに、自分で決めて、勇氣を出して挑戦して行ってほしいと思います。そして、自分を知り、自分の得意分野は何なのか。何が一番好きで何に夢中になれるのかなど。客観的に自分自身をとことん見つめてください。自分自身を認めてください。答えはあなたにしかわかりません。そして、自分の得意分野を生かした一生かけてもいいようなことを見つけてください。決して学びを止めてはなりません。可能性は無限大です。生きる喜びを見つけるのです。

二つ目は、繰り返しになりますが、いつでもどこでも、今まで出会った友だちやこれから出会うであろう誰にでも、「感謝の心」を決して忘れないでください。

第五小学校では、今年に入ってあのアメリカのメジャーリーグで大活躍の大谷翔平選手から、野球のグローブが送られてきました。

「野球しようぜ」格好いいですね。みなさんも手に触れたことと思います。なぜ、大谷選手は日本全国の小学校へこんなにもたくさんのグローブを送ったのでしょうか。しかもたくさんのお金も使って。そこにはやはり、今まで育ててくれた日本への思い、野球に出会い、野球を教えてくれた日本への「感謝の心」があったからだと思います。感謝の思いを言葉にし、行動に移す。それが自らを成長させる原動力にもなるのです。このように「感謝の心」は

人生を豊かにします。そこにはもちろん大谷選手自身の高い目標と、夢を実現するための人にはまねできないような膨大な努力があったことは言うまでもありません。皆さんも大谷選手のように、高い目標を掲げ、勇氣をもって挑戦すること。学び続け努力を重ね、自分の夢を叶えてください。『夢は、必然です。』そして、いつでも、どこでも、誰にでも、「感謝の心」を決して忘れないでください。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。思えば六年前、あんなにも小さかった我が子が、身も心もしっかりと大きく成長し、今では第五小学校の代表として、どこへ出しても誇れる立派な安中っ子に成長しました。これまで、ご家族の深い愛情と、温かい支えがあったからこそ、今日のこの日を迎えることができたのだと思います。改めて、心から、お祝いを申し上げます。また、これまで本校教育に対する、深いご理解と、温かいご支援・ご協力に、深く感謝を申し上げます。今後とも、本校教育活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いたします。

結びに、卒業生六十五名の前途洋々たる明るい未来と限りない挑戦、そして幸せ多き人生を歩まんとすることを祈りつつ、式辞といたします。『これからも笑顔を忘れず、自分を大切に、そして、友だちや回りの人も大切に』しながら、自分の夢に向かって、一步一步、歩んでいってください。

